

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	23年 7月26日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市南区東九条南石田町5番地	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 京阪バス株式会社 取締役社長 塩田 正
環境マネジメントシステムの名称	京阪バスグループ環境マネジメントシステム（独自のシステム）
適用範囲	京阪バス株式会社 本社 外 18ヶ所
導入年月日	平成17年4月1日
認証番号	
基本方針	バスによるお客様輸送サービスをはじめとした各事業活動において、環境保全活動が企業の社会的責任であることを認識し、環境負荷の低減と環境汚染の予防に積極的に取り組み、地域社会に貢献する。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	平成22年度全社共通目標 バスの燃費 対前年 2%向上 社用車の燃費 対前年 2%向上 電力使用量 対前年 1%削減 水道使用量 対前年 1%削減
目標を達成するための取組の内容	エコドライブ講習、アイドリングストップ車両への代替、低燃費車両の代替、エコオフィス活動 環境担当者会議、内部監査及び京阪グループ監査
目標を達成するための取組の進捗状況	エコドライブ講習・・・平成22年度 6回実施 アイドリングストップ車・・・平成22年度 34両導入（導入率 54.9%） 低燃費車・・・平成22年度 30両導入（導入率 80.5%）
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	平成22年度の目標に関しては、バスの燃費向上以外の項目について目標を達成できた。 バスの燃費も目標数値は達成できなかったが、対前年では向上している。 本年度以降も、引き続き取組んでいく。
事業活動に係る法令の遵守の状況	届出等が必要な法規制については、事業所ごとに年1回「現状認識シート」により洗い出し、マネジメントプログラムに組み込んでいる。 年1回の内部監査等で実施状況を確認している。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	年1回、社長による見直しを行う。 平成23年度より、目標を事業所ごとに定め、実状に見合ったきめ細かい取組みを目指す。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。